

## 神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)

コース 専攻	生活環境コース	対象学年	1年
講義日	令和5年9月5日(火)		
テーマ	資源循環「食品ロスを考える」(資源循環社会入門)		
講師	中野 加都子		
講義内容			
<p>1. ねらい</p> <p>深刻な食料危機にある国・地域が増えているなか、日本では食品ロスが問題となっています。特に生活の中では賞味期限、消費期限の区別なく捨てられている「手つかず食品」が目立つようになっています。今回の講義では食品ロスの実態を知るとともに、どのような新たな対策が進みつつあるのかについて学びます。</p>			
<p>2. 主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 食品ロスの現状</li><li>(2) 手つかず食品とは</li><li>(3) 「食べ残し」と「手つかず食品」が家計に与える影響</li><li>(4) 事業者と連携した最近の取り組み事例</li><li>(5) 1/3ルールと消費者の鮮度指向</li><li>(6) まとめ</li></ul>			
講師からのメッセージ			
<p>神戸市ではじまった「てまえどり」は、「現代用語の基礎知識」選 2022 ユーキャン新語・流行語大賞のトップ10に選出され、今ではこの取り組みが全国に広がっています。「てまえどり」の活動も含めて、賞味期限や手つかず食品について詳しく知りましょう。</p>			

## 神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)

コース 専 攻	コース 生 環 専攻	対象学年	1 年
講義日	令和 5 年 9 月 19 日( 火 )		
テーマ	脱炭素社会「創エネ&ゼロエネ住宅」		
講 師	河原一郎 津田和典		
講義内容			
<p>1. ねらい</p> <p>自然環境や人間の暮らしに大きな被害をもたらしている地球温暖化。近年は気候変動ではなく「気候危機」と云われています。主な原因は、人間活動による温室効果ガスの増加の可能性が高いと云われている。</p> <p>現状を知り、将来のために私たちが何をどの様な取り組みをしていけばよいかを考える。</p> <p>2主な内容</p> <p>(1)地球温暖化の現状と将来 現在各地でどの様な事が起こっているか、また今後どのようなことが起きると想定されるか理解する。</p> <p>(2)再生可能エネルギーとは 脱炭素のための再生可能エネルギーの概要と今後の問題点を理解する。</p> <p>(3)ゼロエネルギー住宅と省エネについて ゼロエネルギー住宅とはどのようなものか。各家庭のライフスタイルに合わせた省エネ、省 CO2 対策提案する「うちエコ診断」の紹介。</p> <p>(4)今ある生活で我々が出来る省エネについて考え理解する。</p>			
講師からのメッセージ			
<p>地球温暖化防止に取り組んで久しく、現在どのような状況か将来どのような事が想定されるかを理解し、子供や孫たちの為に今後日常生活でどの様な事をすればよいかを考えてください。</p>			

## 神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)

コース 専攻	生活環境コース	対象学年	1年
講義日	令和5年9月26日(火)		
テーマ	災害から命を守るための気象情報		
講師	(株)南気象予報士事務所 気象予報士 吉村真希		
講義内容			
<ul style="list-style-type: none"><li>・テレビ&amp;ラジオ 天気予報の裏側</li><li>・天気予報ができるまで</li><li>・知っているようで知らない気象用語</li><li>・気候変動</li><li>・命を守るための気象情報～いざという時のために今できること～</li></ul>			
講師からのメッセージ			
<p>近年、これまでに経験したことのないような気象災害が頻発するようになりました。気象庁も、気象災害のステージが変わったと表現しています。</p> <p>線状降水帯・危険な暑さ・台風が強い勢力を保ったまま接近など、命に関わる気象災害が迫っている時にどう行動すればいいのか！ご自分や大切な人の命を守るため、気象情報を正しく理解し、活用していただくためのノウハウをお伝えいたします。</p>			

## 神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)

コース 専 攻	生活環境コース	対象学年	1年
講義日	令和 5年 9月 26日( 火 )		
テーマ	脱炭素社会「再生可能エネルギー 神戸市での小水力発電所」		
講 師	新井 祐作(株式会社鴻池組)		
講義内容			
<p>1. ねらい</p> <p>脱炭素社会に貢献する再生可能エネルギー、その中でも小水力発電に関する知識や背景を学習することにより、再生可能エネルギーの必要性を理解する。そのうえで今後の日本や世界が取り組むべき方向性を各々が考察する。</p> <p>2. 主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 小水力発電の基礎知識</li><li>(2) 東灘第1低層配水場小水力発電事業の概要</li><li>(3) 神戸市の取組</li><li>(4) 固定価格買取制度(FIT)について</li></ul>			
講師からのメッセージ			
<p>テーマに関して、疑問を持つ点や興味がわく点は、人により様々に異なります、今回の講義を機会に、興味がわいた点がありましたら、今後自らの学習によって更に知見を広げて下さい。</p>			